



県議会報告 岡本かずやの

「元気印」

四万十市事務所 :0880-34-3174 携帯:090-7573-8193

2023年10月22日 No.22

9月定例議会、修正議案を提出するも否決！



薄暗くなった 92.1 km 地点で
「おかえりなさい」「残り8キロ
頑張れ」と声援を送りました。

和也の近況

九月定例議会も終了。私たち日本共産党県議団は、補正予算の中の一つの予算に削除を求める修正議案を提出。修正議案が否決された為、今回上程された議案すべてに賛成の立場を取りました。下段に修正議案の提案理由（要旨）を掲載します。

ウルトラマラソン

十月十五日、第二九回四万十川ウルトラマラソンのボランティアとして、早朝スタート地点の蕨岡で駐車場への誘導係、午後からは九二、一キロ付近でのコース監察員を行いました。私自身も十三年前の十六回大会で、六十キロを苦しみながらも完走出来たことを思い返して応援しました。

可決された意見書

- ☆下水サーベイランス事業の実施を求める
- ☆軽油取引税の免税措置の堅持を求める
- ☆硬膜外自家血注入療法に対する適正な診療上の評価等を求める
- ☆脱炭素と自然再興に貢献する循環型経済の推進を求める

今回の修正議案の中身

削除を求めた議案は、教育予算の充実に係わる「学習支援プラットフォーム構築等委託料」の七八五万四千元です。この事業の目的は、県教委の説明によると、県独自の学力テストやデジタルドリルでの学習結果等を教員の指導向上や子どもたちの自主的な学習に活かし、又「気持ちメーカー」による児童生徒の気持ちや教員がデジタルで把握するシステムや、保護者もアクセスできるシステム、教員の業務負担の軽減にもつながるとの説明でした。

何が問題か

デジタル化を全て否定するものではないが、タブレットの持ち帰りにより、「子どもは持ち帰ったタブレットに向かって本読みを録音し、夜九時までに先生に送信」等、授業以外での学習行動の管理強化が指摘されている。教員の持ち帰り仕事にも繋がる可能性がある。学校は本来、先生が子どもたち一人一人に向き合い、人間的な信頼関係を深めながら、又友達同士で励まし合い、学び合う環境が大切にされる場所。このまま、デジタル化の推進は、子どもたちの成長を阻害する。